



栃窪小だより



学校ホームページ

笑顔いっぱい「地区合同運動会」!

5月24日(土)心配していた天気も何とかもち、過ごしやすい天候の中で地区合同運動会が開催されました。

少し肌寒いくらいの気温。時折日差しが差すくらいでしたので、暑すぎることなく、子どもたちも保護者の皆さま・地域の皆さまも、はつらつと競技に参加し、仲間への応援に力が入っていました。

伝統ある「大型オセロゲーム」での攻防や、「チェッコリ玉入れ」での子ども顔負けの大人の本気ダンスと“物言い”による4回戦(大人の皆さん、本当にお疲れ様でした!）、地区の皆さまからたくさん参加していただいた「多留山レース」など、どの競技にも笑顔があふれ、あたたかい楽しい時間となりました。中学生、高校生の皆さんが様々な場面で参加してくれたおかげで、運動会が一層盛り上がりしました。来年も待っています。是非参加してください。

地区の皆さまからたくさんのあたたかい声援を背に受けながら、11人の子どもたち、そして保護者の皆さまと作り上げた地区合同運動会。最後には爽やかな笑顔があふれていました。関わったくださったたくさんの皆さま、本当にありがとうございました。



第2回 学校運営協議会開催

初めてとなる「学校運営委員・教職員・保護者による熟議の会」が5月15日に行われました。それぞれの思いや願いを出し合い、互いに共有し合いました。

- ・学校を通じて地区と子どもをつなぎたい。それが win・win。
- ・下校時（車中）の親子だけの時間が、いずれ宝物になる。
- ・栃窪だからできる体験、一生涯残る原体験がここにはある。

など様々な意見が出てきました。

意見交換をする過程で、思いや考え方は一人一人異なっても、目指している方向（ベクトル）は同じなのだと気づかされました。

改めて「集う」+「語る」+「誰も嫌な気持ちにならない」=「心からわくわくする・元気が出る」を実感した素敵な時間でした。お忙しい中参加してくださった皆様、本当にありがとうございました。次回は9月16日（火）を予定しています。皆様からのご参加お待ちしております。



連絡①です

今年度、栃窪小学校ホームページ頑張っています！

保護者の皆様に子どもたちの様子がわかるようにするとともに、積極的に外部に発信するため、様々な行事だけでなく日常の様子も含めて日々発信しています。ホームページをご覧になりながら、ご家庭でお子さんと楽しい時間を過ごされてください。

応援していただけると、職員一同、より一層頑張れます。温かい声がけをよろしくお願いいたします。

連絡②です

令和2年4月から児童福祉法が改正され、子どもへの体罰が法律で禁止されています。子どもに不自然なあざや傷を見つけた場合、学校には児童相談所や市役所へ報告する義務があります。保護者の方に様子を伺うことがありますので、ご理解いただきますようお願いいたします。栃窪小学校職員も子どもたちの健やかな成長を願っておりますので、お困りのことがありましたら、いつでもご相談ください。

連絡③です

先日、本年度県内初の熊による人身被害が、塩沢地区でありました。県は7月14日までの2ヶ月間を「熊出没警戒強化期間」として注意を呼びかけています。南魚沼市でも、「熊出没マップ」「防災メール」などの配信システムがありますので、必要に応じてご活用いただき、いざというときの防災・減災のため備えておいていただけるとありがたいです。



R7 キャッチフレーズ「たくましい子どもの育成」

～子どもが失敗を恐れず挑戦するために大人ができること～

社会の大きな変化(society5.0)や予測困難な未来(VUCA 時代)を生きる子どもたちに付けたい力、その重要性について PTA 総会の際にお話しさせていただきました。

失敗を恐れず挑戦するたくましさ(身体的・精神的)と、それを支える自己肯定感を育むために大人ができることはたくさんあります。その一部を紹介します。

① 無条件の愛情と受容

・ありのままを受け入れ、「あなたは大切な存在」「そのままのあなたが大好き」という気持ちを常に言葉や態度(抱きしめたり一緒に遊んだり)で伝えることです。

・「話をしっかり聞いてもらえている(「うんうん」「そうなんだね」や相槌)」という「受け入れられている」と感じる体験の積み重ねが、安定した心の育成に大きく寄与します。

② 成功体験を積み重ねる

・結果ではなく、そこに至るまでの「過程」を認めます。結果のみ褒めている(結果ばかりに焦点を当てている)と、失敗を恐れる子どもになるそうです。

③ 役割と責任を与える

・お手伝いを頼み「ありがとう」を伝えることで、「自分は役に立っている」という気持ちや「相手の喜び・感謝」に満足感を得られる(ご褒美という“物自体”に対する価値ではなく)心が育っていきます。

④ ポジティブな言葉がけ

・失敗を責め「なんでできないの」「だめじゃない」では自尊感情を傷つけ、自力で前に進もうとする力は育まれません。「次にどうしたらよいか」に導き、必要に応じて一緒に探してあげることで「失敗<挑戦」の心が育まれます。

⑤ 適切な距離感で見守る

・本人の力だけで解決できないときのサポートは大切ですが、まずは自分で解決できるよう見守ることも大切です。自分でできたという成功体験の積み重ねが挑戦する心を育てます。

今年度、学校ではこの記載以外にも、次のことを重視していきます。

⑥ 子どもの主体性を育む

・授業や様々な活動を通して、自分で選ぶ、自分で決める、自分からチャレンジする機会を増やしていきます。

⑦ 役割を与える

・当番活動やサークル活動などを通して、責任感と達成感を育み「自分は役に立っている」という感覚を高めます。

⑧ 保護者との連携

・お子さんのよいところを共有し、家庭でお子さんに声がけできるようにします。

⑨ 教員自身の自己肯定感を高める

・当校教職員の自己肯定感が高いことは、子どもに安心感とよい影響を与えます。

このように列記されていると圧を感じるかと思いますが、すべてを実施することを目指し記載したわけではありません。家庭と学校で、焦らず愛情をもって「できるところから始める」を進めていきたいと考えています。お子さんのよりよい成長のために、一歩ずつ一緒に取り組んでいきましょう。

【6月の行事予定】

2	月	苧麻の畑作り ※5/29より変更
3	火	春の樽山遠足
4	水	全校朝会
5	木	サークル活動
6	金	歯と口の健康習慣(～11日)
10	火	租税教室(高学年)
16	月	RST 実施(6年生1限) 国際交流会
18	水	耳鼻科検診 スクールカウンセラー来校
20	金	水泳授業①
23	月	集金日
24	火	水泳授業②
26	木	クラブ活動③
27	金	水泳授業③

